

いつもお世話になります。自分の故郷や応援したい都道府県・市町村に寄付をすると税額控除が受けられる「ふるさと納税」制度。今回の震災以降、被災地への「ふるさと納税」が急増しているそうです。復興への長き道のりを思えば、助け・助けられながらの「恩送り」が日々、日本の希望を育てていくように感じます。

知っとこ!「税務のママ知識」

【社宅の家賃補助は「課税」or「非課税」?】

会社は福利厚生を充実させて従業員の働きやすい環境を整えます。特に住居は従業員やその家族が安定した生活をするための基礎になります。そのため、自社の社宅や借上げ社宅を用意している会社も多くみられます。原則的には、社宅は給与の現物支給として扱われ従業員に税金がかかります。しかし、社宅を使用する従業員から、1ヶ月当たり一定額の家賃（賃貸料相当額）以上を受け



取ってれば給与として課税されません。賃貸料相当額とは、次の(1)～(3)の合計額になります。(1) (その年度の建物の固定資産税の課税標準額) × 0.2% (2) 12円 × (その建物の総床面積 [平方メートル] ÷ 3.3 [平方メートル]) (3) (その年度の敷地の固定資産税の課税標準額) × 0.22%

借上げ社宅の場合は会社自らが借主となり、それを従業員に貸す必要があります。従業員が家主と直接契約している場合の家賃負担については、社宅の貸与とは認められないので注意が必要です。

なお、仕事を行う上で勤務場所を離れて住むことが困難な従業員に対し、その仕事に従事させる都合上、社宅や寮を貸与する場合には、無償で貸与しても給与として課税されない場合があります。社宅に関しては、会社の負担分だけ従業員の給与を抑えれば社会保険料も抑えることができるので、そのような点でのメリットもあります。

痛快! えだまめ君

画:ほりひろみ



今月のあなたの運勢

鑑定: 妙慎

A型	B型	O型	AB型
秘密が露見しやすい暗示。バレて困ることは念には念を入れて事前対策を。特に見られて困るメールは削除を!	交際運が活発な月です。人の集まる場所へ積極的に顔を出して人脈を広げておくと、後々発展しそうです!	遠方との取引にツキが巡りそうです。誠実な対応が報われる月ですから、地道に信用アップをはかりましょう!	焦って行動すると運気は下降します。何事も控え目にやり過ごす努力を。金運は節約第一で乗り切りましょう!

社員のひとこと日記



皆様、地上デジタル放送への移行は完了しましたか？私がたけなが通信を書いている今日(7月25日)から、地上デジタル放送に完全移行しました。本当に映らなくなるのかな？と、試しにアナログ放送に切り替えて見ましたが、敦賀市はRCNの意向で、(暫くの間)デジタル放送をアナログに変換して放送する為、まだ暫く映るとの事。映らなくなる瞬間を見たかった自分としてはちょっとガッカリです。

さて、話は変わりまして、今回は生活の知恵(?)について少し書きたいと思います。これから夏場に向けて厄介な害虫といえばゴ○○リですが、どんな対策をとっていますか？罌・お団子・殺虫剤・・・、他にも様々な商品がありますが、【誘い出して捕まえる】・【成分がきつくて子供に・・・】等、いろいろ問題もあるみたいです。そこでお勧めしたいのが、ハッカ(ミント)です。ハッカは害虫駆除の役割を果たすのはもとより、成分が自然の物なので安心です。ただミントだと成分が弱いので、薬局で取り扱っているハッカ油(日本版ミント)をバケツ一杯の水に数滴垂らして床・エアコンを水拭きするだけで、本当によく効きます。ただ素手で水拭きすると、物凄く手がスースーしますので(笑)、手あれが心配な方はゴム手袋をしたほうが良いかもしれません。興味のある方は是非試して見て下さい。

遊津

365日が楽しくてたまらない!「商売のヒント」

今月の商売のヒント:【今こそ問いたい商売の品格】

長野県の諏訪湖はそのむかし、子どもたちが泳いで遊ぶほどきれいな湖だったそうです。それが経済成長期に水質汚染が進み、一時期は「日本一汚い湖」と言われたこともありました。今ではずいぶん浄化活動が進んでいるようですが、諏訪湖がまだ「汚い湖」だった頃、毎朝、ゴミ袋を片手に湖畔のゴミ拾いをする一人の男性がいたそうです。地元で商売をしているTさん



です。「諏訪湖で泳ぐ子どもたちの姿をもう一度見たい」、Tさんのそんな願いから始まった、たった一人の諏訪湖清掃は次第に人の知るところとなり、地域の人たちも朝のゴミ拾いに参加するようになったそうです。そんなある夏の朝、湖畔に大量の花火カスが落ちていました。「誰だよ、せっかくきれいになってきたのに」。

ゴミ拾いに参加していた人は、その光景にガッカリして腹を立てました。ところがTさんは、目を輝かせながらこう言ったそうです。「いやあ、嬉しいな。やっとみんなが諏訪湖で遊んでくれるようになったよ」。

Tさんの言葉に、その場にいた全員が「この人にはかなわない」と襟を正したそうです。Tさんは精密機械の商売をしています。商売のやり方も諏訪湖清掃と同じです。仕事の依頼主には、「おたくから○○円でいただく仕事を下請けには△△円を出し、その差額で従業員を養っています。ですからこれ以上値下げされると従業員に給料を払えません」。下請けさんには、「入りの金額は○○円。だからおたくには△△円を出します」。すべての金額を包み隠さず提示するTさんに対して



依頼主も下請けさんも「この人にはかなわない」とやはり襟を正すのだそうです。従業員が普通に暮らせるだけの商売ができればそれでよし。それ以上の欲を求めると商売が長続きしない。Tさんを商売人として、人として慕う人はとても多く、「Tさんがそう言うなら」とあっさり話がまとまることも少なくありません。一時期ブームになった「○○の品格」という言葉を、今こそ自分の商売に当てはめて考え直してみたいものです。業種や業態が違っていても、世のため人のために商売をしている人には、どうしたってかないません。